

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり報告します。

総 務 文 教 調 査 会

平成 27 年 11 月 11 日（水）

9 時 57 分～14 時 18 分

全員協議会室

（委 員） 岡本委員長、上野副委員長

岡野委員、野藤委員、芦谷委員、佐々木委員、田畑委員、江角委員

（議 長・委員外議員） 足立議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、笹田議員、布施議員
道下議員、澁谷議員、原田議員、牛尾昭議員

（総務文教委員会 所管管理職）

〔総 務 部〕 植田総務部長、前木総務部次長（総務課長）、河上安全安心推進課長

〔地域政策部〕 砂川地域政策部長、宇津地域政策部次長（政策企画課長）、河上まちづくり推進課長、岡田地域プロジェクト推進室長

〔財務部〕 埴財務部長、河野財務部次長（財政課長）、稲垣徴収課長（ふるさと寄附推進室長）

〔金城支所〕 吉永支所長

〔旭 支 所〕 田村支所長、栗栖旭分室長

〔弥栄支所〕 細川支所長

〔三隅支所〕 斎藤支所長

〔会 計 課〕 江木会計管理者（会計課長）

〔教育委員会〕 石本教育長、山本教育部長、横田教育部次長（教育総務課長）、山根生涯学習課長、~~渡邊文化振興課長~~

〔消防本部〕 河上消防長、藤井消防本部次長（総務課長）

〔所管外〕 佐々木都市建設部建築住宅課長、岸本上下水道部工務課長

（事務局） 篠原書記

（報道） 山陰中央新報社、中国新聞

議 題

1 報告事項

- （1）米軍機低空飛行訓練による騒音等の状況について
- （2）海上自衛隊艦艇物資補給基地誘致の要望活動について
- （3）シングルペアレント介護人材育成事業の受入及び募集について
- （4）浜田市地域公共交通再編計画（案）について
- （5）（仮称）浜田城周辺整備検討会の設置について
- （6）平成 27 年度税制改正について
- （7）浜田市ふるさと寄附の状況について
- （8）サン・ビレッジ浜田 スポーツ広場の整備について
- （9）「故石本正先生を偲ぶ会」について
- （10）旭図書館移転事業について
- （11）浜田市有施設における旭化成建材の杭工事实績について

(12) その他

教育委員会～浜田開府 400 年記念プレ講演・座談会の案内

田畑委員～新まちづくり総合交付金に関する苦情

2 その他

なし

【以下詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開 議 9 時 57 分)

岡本委員長

只今から総務文教調査会を開会する。常任委員会委員任期2年満了に伴う改選により、新たに我々8名が総務文教委員会委員に選任された。

(委員、順次あいさつ)

只今、出席委員は8名で定足数に達しているので、さっそく会議に入る。

それでは議題1の報告事項について、順次報告願う。

1. 報告事項

(1) 米軍機低空飛行訓練による騒音等の状況について

(2) 海上自衛隊艦艇物資補給基地誘致の要望活動について

岡本委員長

この2件について、安全安心推進課長。

安全安心推進課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

委員から質疑は。佐々木委員。

佐々木委員

米軍機の件だが、中四国防衛局との意見交換会は新たな取り組みとのことで、防衛省に直接訴えることが出来る場ではないかと思う。これは今後継続していくことが非常に重要だと思うがどうか。それから現状の状況は若干増えぞみという内容ではないかと思うが、これまで最も影響の大きかったのは旭のこども園だと思っている。実際はどうか。

安全安心推進課長

中四国防衛局との協議は、今回初めて実施しているが、継続していく方向で関係者が了解している。時期は特に決めていないが、顔が見える関係を築こうということで互いに継続していくと認識している。

旭こども園の現状だが、中四国防衛局へも国へも、子どもさんが非常に恐れていることを強く訴えている。現状の詳細については把握しきっていないが、数値的データはある。データを出した方が良さだろうか。

佐々木委員

訓練が減れば影響は少なくなっていると判断出来るので、回数がどうか聞きたい。

安全安心推進課長

すみませんが、後でお答えする。

旭支所長

仰るとおりこども園の皆は非常に怯えていると保育士や保護者の方から伺っており、常に対策をと訴えている。一時期より回数は減っているため苦情は減少傾向にあると思っているが、更に強く要望していきたい。

岡本委員長

江角委員。

江角委員

要望活動に対して、国はどのように回答しているか。それから、これまでの関係でアメリカからはどのような回答をいただいているか。先日、金城・旭近辺を通りかかってたまたま音を聞いた。町場に住む我々の認識と旭や金城の皆の捉え方は違うのだろう。

また、先週は白川氏に映像を見させていただく機会があった。白川氏も言っておられたが、決定的に違うのは単なるルート飛行ではなく、恐らく旭の矯正施設を目標にして低空飛行で爆撃して急上昇をする訓練をされているので、他の訓練とは違うのだろうと。それを何度も繰り返すから映像に撮ることも出来ている。こども園は矯正施設付近にある。日本政府は訓練区域の変更を強く訴えているのかもしれないが、聞き入れてもらえないことから、日米安保は一体どのような信頼関係なのか。国やアメリカの回答を何か聞いているなら教えて欲しい。

安全安心推進課長

要望に対する回答ということだが、基本的には日米の協定に基づくということと、地域住民への影響を最小限にする件はしっかり伝えるという回答を貰っている。今年は8月7日の報告について、初めてアメリカ側から「その飛行は米軍機である」旨の回答があり、中四国防衛局から県を通じて我々に届いた。国は米軍に対して、要望なり飛行データの提示をきちんとしてくれていると認識している。

急降下の関係だが、それも中四国防衛局には言っているが、訓練の詳細を得るのは難しいという回答があった。確かに仰るとおり、特徴的な建造物なので目標にしやすいのだろうが、それを認めるような回答は得ていない。

総務部長

10月19日の防衛省外務省の要望活動については、市長と私が同行したので少し状況を話したい。

外務省は武藤副大臣、防衛省は熊田大臣政務官に対して要望活動を行っている。知事から実態について話をしてもらい、その後に動画も見てもらった。知事からは、国全体のことを一部の地域だけが負担を受けるのはおかしいとか、米国への対応について誰に伝えられているのか情報がないといったような内容を伝えてもらった。それに対し外務省・防衛省ともに、一定の理解はされているが明確な方針についての具体的な回答はなく、引き続き各省庁で対応していきたいとのことだった。

防音等の対策も、必要であればしていかなければならないという回答であり、はっきりとしたものではなかった。

外務省・防衛省への要望活動の後、県内選出の国会議員の皆にも、要望活動の件をお知らせし、協力を要請した。

江角委員

地方創生において、人口増に向けた努力をするにあたって、都会とは違った静かな環境が大切だと思う。継続的に強く働きかけてほしい。

岡本委員長 野藤委員	他に。2 番については。野藤委員。 1 番だが、騒音等の件数が増減でプラス 31 になっているが、どこが増えているのか、金城か。また、記録報告者の部分にて金城に「その他 31」とあるが、これはどこの報告なのか。
安全安心推進課長	今年から学校からも情報を取るようにしているのでその影響かとも思うが、詳細を確認して後ほど回答する。
岡本委員長	その他。 (「なし」という声あり)
岡本委員長	ではこの件については終了する。

(3) シングルペアレント介護人材育成事業の受入及び募集について

岡本委員長 政策企画課長 岡本委員長 野藤委員	この件について、政策企画課長。 (以下、資料をもとに説明) 委員から質疑は。野藤委員。 この事業を実施するにあたり、きめ細かな生活相談を受けられるよう人員配置されているが、今まで相談はあったのか。
政策企画課長	詳細については手元に資料がないが、例えばごみの出し方。また生活指導員 4 名のうち 2 名は民生児童委員も務めているし、他 2 名も同じ職場や境遇の方を配置しているので、生活面全般、福祉制度についての相談等も受けてもらっている。
野藤委員	先ほど初年度との変更点について説明があったが、非常に注目を浴びたことによって、人数の増加や介護以外の職種もという話も出ていたと思うが、検討はなされたのか。
政策企画課長	予算面の制約もあるが、募集時には 3 名だったが 4 名に増やす予定にしている。他の職種等への拡大についても検討中だが、今のところは今と変わらず介護職を対象としている。
野藤委員 政策企画課長 岡本委員長 芦谷委員 政策企画課長	その他の、自動車の提供なども一期生と同じ条件か。 同じ条件だ。 その他。芦谷委員。 この事業に対する内外の評価を紹介してほしい。 5 月に首相官邸から「大変ユニークな事業なので内容を詳しく聞きたい」とのことで市長が呼ばれ、官房副長官のヒアリングを受けた。
芦谷委員	大方 1 年が過ぎたと思うが、この事業の課題や克服すべき問題点、3 年目以降の方針について考えがあれば伺いたい。
政策企画課長	結果的に 4 名（子どもを含めて 9 名）が浜田市に転入したが、同じ時期の人口動態がプラスに転じているのはこの方々の影響だと思う。国勢調査の時期でもあったのでタイミングもすごく良かった。不足している介護人材が 4 名確保出来たという点でも、市民に対する効果があったと思う。 今後の取り組みについては野藤委員に回答したように、人材が

岡本委員長
佐々木委員

不足している他の職種（看護・保育士等）への拡大についても検討中である。課題としては、国の地方創生交付金の対象にすることを予定していたが、給付に対するものは対象にならず認められなかったため、予算面での問題・課題があると思う。

その他。佐々木委員。

助成金は地方創生交付金対象にならなかったと言われたが、そもそも国からは「地方創生に相応しい取り組みだ」という評価で招待があったのではないのか。それが交付金の対象にならないのは違和感がある。どう感じているか。

また、2期生に全く同様の支援をするという話だった。市外・県外から介護人材を呼び込むのは非常に良い取り組みだが、市内で頑張っているシングルペアレントの方への支援はどうなっているのかという声を今でも聞いている。2年目に入るにあたりどのような検討をされているか。

政策企画課長

仰るとおり国からも高い評価を受けているので、対象になるものと思っていたため残念だった。国の交付金に設けられたルールに照らし合わせて「対象外」という回答だった。仕方ないのかもしれないが、給付に近い部分でどうにかならないかとお願いするつもりでいる。

現市民への支援だが、私どもは国県の交付金や補助金を使って市外から人を呼ぶ施策として取り組んでいる。現市民への対応については福祉部門での対応になると思われるが、事業拡大の検討を進める中で多少なりとも現市民を対象とした支援が出来ないか、検討中である。詳細については説明できない。

地域政策部長

今の答弁に補足する。この事業は市外のシングルペアレントの方に介護職で働いていただくものであり、現市民への支援策がないのではという意見は以前からある。

まずこの事業を始めたのは、先ほどから言うように介護職場の人材不足という大きな課題があり、介護事業者から「外国人研修生でも受け入れて人材を確保してもらえないか」という要望があった。地元で求人を出しても介護職場に人が集まらない状況を改善するという課題が根本にあった。全国では一人親の方がなかなか正規雇用には就けず、生活困窮状態にあるという現状があることから、それを組み合わせた事業ということでスタートしている。浜田市民の一人親の方への支援も当然しなければならないし、福祉施策としてやっているが、今回のこの事業は介護職場の人材確保を最優先に考えて、国県の補助金を使った。定住支援も絡めていることをご理解いただきたい。

この事業の実施によって夜間保育の問題等も出てきたため、24時間保育や夜間保育の充実を福祉サイドと検討している。これは市内の一人親の方への支援にも繋がる。より多くの方の支援に繋

	がる施策を考えていきたい。 新たな介護人材の確保という視点の取り組みだと思うが、一方、同様の立場で介護現場で働く方々を離職させない、守る視点も必要だと感じたので質問している。攻守のバランスを市全体で考えていただきたい。
佐々木委員	新たな介護人材の確保という視点の取り組みだと思うが、一方、同様の立場で介護現場で働く方々を離職させない、守る視点も必要だと感じたので質問している。攻守のバランスを市全体で考えていただきたい。
地域政策部長	今務めておられる方に離職されない努力も必要だと思っている。この制度によって既存の方との不平等が生じてはいけない。現職の方と、この制度を利用して新たに来られた方とが、上手く連携できるように配慮したい。
岡本委員長	他に。岡野委員。
岡野委員	この事業を始めたことで、他の自治体から問合せや行政視察等の反応はあったか。
政策企画課長	多数ある。来週も議会の視察が2件、行政視察が1件入っており、視察対応に追われている。電話での問い合わせ等も多数ある。
岡本委員長	他に。芦谷委員。
芦谷委員	既に市内に住む一人親の状況は少しも変わっていない。その方々の生活実態を鑑みて、UIターンを進めつつ、既存の一人親に対する支援も、今までの制度から一步でも進むように総務部から健康福祉部に要請してほしい。
岡本委員長	他に。江角委員。
江角委員	介護職の人材不足からスタートしたという意味では、私は一定の評価をしたい。国の交付金の対象にならなかった件は、もう一過性でありここで認められなければ今後認められることはない事業だと思うがどうか。 国の総合戦略等を読みこんでいくと、人口減少社会に突入する中で1億人の人口をなんとか確保しようという考え方が柱となってスタートしている。東京一極集中を緩和し、地方に子育て環境を作り、少子化対策に繋げるという視点からすれば、鳥取や山口から受け入れても人口が増えるわけではないので、その辺りもしっかり押さえてもらいたい。交付金の対象から外れた理由はそのような点にあったのだろうか。
政策企画課長	給付は対象外という点については、申請段階から言われていたので「やっぱりだめだったか」と。そういうルールであれば今後も対象になるのは難しいと思うが、ボーダーあたりで話が出来なかなと思っている。
地域政策部長	この事業の趣旨からすれば、近隣都市ではなく大都市から迎えたいと思っている。その辺りが交付金の判定に影響したかどうかは詳しくは分からないが、そこは影響しなかったように思う。 個人に給付するものは基本的には対象外とのことだが、この受入事業は給付部分が中心になっているので、国とも前向きなやりとりをする中で、5年間の地方創生総合戦略に入れた事業なので、

岡本委員長
田畑委員

地域政策部長

田畑委員

この部分が対象になる・ならないは非常に重要なため、国ともやりとりしていったって、個人給付で駄目ならどういうやり方であれば多少でも対象になるかのすり合わせは、引き続きやっていく。

都市部から地方へ、というのが地方創生の考えである。今回「県外」としたのは、1 期の時は県内からの応募もあったため、県内での人の取り合いは防がねばならないということで県外というルールにし、基本的には都市部からということで、先般は東京・大阪のUIターンフェア等でもそのようにお願いしたり、ふるさと回帰支援センターにも都市部からの誘導をお願いする努力はしていきたい。

他に。田畑委員。

シングルペアレント事業はもともと、人口減少問題対策会議か検討委員会から出たものだと私は思う。その頃、並行して島根県中山間地域研究センターから出た各公民館単位のまちづくりをしなければならないとのことで、浜田市には 26 の公民館があってそのうち 9 つの公民館が、色んな形で支援していかなければならない緊急性を要する地域に指定されていたと思う。これがいつの間にか消えて、シングルペアレントが全国的に脚光を浴びている状況の中、現状の中山間地域における人口減少問題について話が消えてしまったような気がする。当時企画財政部長だった埴部長が、限界集落・危機的集落を色んな形で調査されたこともあるし、その資料を我々に提出してもらっている。しかしその後、このシングルペアレント事業ばかりに注力されて忘れられている気がする。これら 2 つの事業の関連はどのようなになるのか。

中山間地域対策は当然積極的に取り組むということで、特に金城・旭・弥栄・三隅においてはまちづくり委員会が出来ているので、それをベースに地域振興していただくための予算も確保している。ただ、シングルペアレント事業が直接、中山間地域対策イコールにはならない部分もある。今回は弥栄に 2 人、旭に住んで金城にお勤めいただく方が 1 人なので、そういう意味では周辺部の人口減少対策にもなったと思うが、特に緊急性の高い地区については敬老乗車券のモデル事業をやらせてもらったり、色んな調査をして、市で行った調査事業を踏まえてどういう対策が出来るかということと、現在は県立大学と共に公民館単位での中山間地域対策の共同研究をしている。その結果を踏まえ、各地区ごとに様々な取り組みをしていきたい。総合戦略では全市的な人口ビジョンを作ったが、共同研究事業においては出来れば公民館単位での将来人口動向も把握しつつ、地区に合った対策をしたいと考えている。

シングルペアレントの話が出てからもう 2 年は経過している。約 3 年前に議会で一般質問されていると思う。人口減少問題、地

地域政策部長

域の買い物、公共交通、病院等々の問題が、なんら前に進んでいないと感じる。シングルペアレント事業は大変良いことだが、現状の中山間地域に全く目が向いていないように感じる。現在そこに住む人に出来ることはしてあげる、汗を流してもらうべきものは流してもらう、そういった一定の線は浜田市がすべき。浜田市から忘れられるような中山間地域になってはいけない。考えを伺う。

後ほど公共交通の再編についても提案していくし、今年3月議会の補正で出させてもらった、国の地方創生繰越予算で、公民館単位の課題研究事業に取り組んでいる。公民館ごとに各地域で、どのようにすれば良いか、報告書もまとまってきている。公民館が今後どのようなことを中心にやるか、検討してもらったような取り組みをしている。これを受けて、地域振興基金の共通事業部分で、公民館単位の課題研究事業を28年度からも4年間やるということで、それぞれの地区ごとに地区に見合った対策をやっていこうと。コミュニティセンター化が必要かとかも議論していこうと思っている。中山間地域活性化は浜田市全体の活性化に欠かせないと思っている。

田畑委員

特に中山間地域における、島根県の研究者である藤山さんが一生懸命勉強し、人口動態、買い物、病院、全てを調査した結果、例えば三隅の黒沢公民館においては緊急性を要するのだと。何が緊急なんだということも地域住民が認識すべきだし、やっておられる。しかしそこに行政の目が向いていないと感じる。今まで調査した結果を横に置いておいて、シングルペアレントをやりだした。全国的に脚光を浴びているすごい事業だが、現在浜田市にいるシングルペアレントの方、そして中山間地域で日々の生活に困っている方々は行政から見放されている感じになっている。色々なアンテナを張って目を向けてあげるべきだろう。よく検討していただきたい。

岡本委員長

概ね1時間経過したので、ここで休憩とする再開は11時5分。

〔 10時 56分 休憩 〕

〔 11時 05分 再開 〕

岡本委員長

委員会を再開する。先ほどの(3)の議題については質疑終了とする。安全安心推進課長より、資料配布と説明をしたい旨の要望があったので願います。

安全安心推進課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

配布された資料について質疑があれば。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(4) 浜田市地域公共交通再編計画（案）について

岡本委員長	この件について、まちづくり推進課長。
まちづくり推進課長	（以下、資料をもとに説明）
岡本委員長	委員から質疑は。佐々木委員。
佐々木委員	じっくり読ませていただき意見を伝えたいと思うが、ここで細かく言っても申し訳ないので、以前から公共交通を進めるにあたっての大きな方針の1つとして、財政負担をより少なくして利便性をどのようにより高くしていくかがあった。まだ試算は出ていないだろうが、どの程度持続可能なものになりそうなのか。見通しを伺いたい。
まちづくり推進課長	財政的に目指しているのは、2億円以内で色んなことが出来るような仕組みを作りたいということだが、それについてどのような方向性が良いのか、市民の交通をどう守るかを最優先に考えていきたい。
佐々木委員	民間路線バスで特に不採算が出ている路線の見直し、要するに廃止して他の手立てを考えるような、そういった具体的な協議がなされているのか。今は民間交通にもかなり市の負担が出ているので、その抑制も含めて路線関係の話がもし出ているなら聞きたい。
まちづくり推進課長	旭の瑞穂線についてだけで、短縮の代わりに周布まで延ばすという代替案を飲んでもらった。それ以外は今のところ聞いていない。
岡本委員長	その他。岡野委員。
岡野委員	ゆめタウンが出来てもう20年以上経っているのに、一番近いバス停でも200メートル離れている。こういう部分が、市民のための行政ではなかったのではないかと反省してもらいたい。
	私事だが、私は長沢の奥、生湯に近い場所に住んでいる。あの地域は人口が多いわりに、買い物となると服部タイヨーしかなく、バスもないため大変不満があったと聞いている。だから新ルートが出来るとは大変喜ばしいのだが、実施計画年度が平成29年度からとなっている。なぜ28年度から出来ないのか。
まちづくり推進課長	ゆめタウンの件は今後出来る範囲で進んでいきたい。新ルートについては、旭の瑞穂線の話も2月にあって、これから今やっと住民説明も終わった段階である。今後のルート変更には届出も必要になるがそれに3ヶ月くらいかかる。そういった色々な事情がある。瑞穂線でも約1年以上かかっているもので、今後のルート変更については今回この計画を立てる段階で初めて上がってきた話なので、今後住民説明も行いながら進めるということで。申し訳ないがすぐの話にならないことはご理解いただきたい。
岡野委員	手続き上のことはある程度分かるが、困っている人がいる中で

	これをやるという説明会は必要だと思うが、出来るだけ早くやっていくことが肝心。28年度の途中からでも良い、ゆっくり構えずにやってもらいたい。 イズミに関しては28年度からになっており差が出来ている。長沢に関しても出来るだけ前倒しでやっていただけるよう、ご検討願う。
まちづくり推進課長	計画実施年度が曖昧な規定で申し訳無かった。服部タイヨーへの新ルートについては、29年度に何とか行いたいという実施年度を書いている。ゆめタウンについては、色んな検討を今年度から着手しているので28年度と書いてある。どちらも速やかに対応したい。
岡本委員長 江角委員	その他。江角委員。 前回の計画の際に注目したのは、交通空白地域を明確にされて、どう対策を取っていくかが非常に特徴的だったと思う。今回その点のトーンが下がった感じはあるが、公共交通がそこを走っているかどうか、空白地域の人達がどう利用できるかも判断基準になろうかと思う。財政的なものもあるが、まちづくりの土台だと思うし、福祉と兼ね合って重要な面だと思っている。 敬老乗車券についてだが、前は社会実験的な意味合いで緊急度の高い9地区に絞って実施され、結果も出ている。次は全市的に行うとのことで、これは非常に有効な手段だとの判断から全市的な実施になったのだろう。乗車券に取り組んできてどういうことが言えるのか。 全市的ということは街中も結構走って、JR・タクシー・バスも利用出来る人も同じように購入出来るという意味では、たくさん乗って補助金を少なくすることに繋がれば良いとは思いますが、交通空白地域に住む方にいかに便利にサービス出来るか。そもそも9地区から始まったことを考えると、もうひとつのランクがある。25の地区が。そうした地区にどう広げるのか。果たしてそうした地区が本当に交通が不便なのか。その辺りの支援を今後どうしていくか。乗車券を買われた方が、どこからどう使われたのかを分かるようにすることで、将来の対策に繋がるのではないかと思います。
まちづくり推進課長	今回試行的にやって、中間アンケートでも「出る機会が増えた」という声があったし、病院や買い物の際に大変ありがたかったという声を聞くと、生活に密接な交通にこの乗車券は有効に働いたと考える。 ここには交付率を書いたのだが、9割近く活用されている。3,000円を500円ということだったので、残ってもいいやという方もおられたことと、転出やお亡くなりになって使えなかった方もいたと思うが、9割の方が買っただけでなく使われたというこ

	とは、かなり有効だった。また、使われたのはタクシーが多かったことから分析すると、家まで来てもらえるタクシーというのが、交通空白地域に住む高齢者には必要な施策だと分かった。市全体に広げたことについては、確かにポイントポイントで本当に困っておられる方に手厚くというのは充分理解出来るが、空白地帯も数字で割り出ただけなので、実際そこに行ってみないと実態が分からない部分はたくさんある。町中の人や弥栄や旭に遊びに行くのにこれを使ってもらえれば交流が広がるだろう。今後はこういうのを購入する際に、市民の方と我々が接する機会が増えるので、購入時に色々な話を聞きながらどういったことが良いのか、3年で見直しをかける予定にしているので、市民と直接話す中から探していきたい。
岡本委員長	利用データの把握について質問があったが。
まちづくり推進課長	何に使ったかは把握してないが、中間アンケートで何に使ったかは聞いている。今後もう1回アンケートを取ろうと思っているので、先ほどのような視点を入れて行きたいと思う。
岡本委員長	芦谷委員。
芦谷委員	34 ページに桜ヶ丘の写真が載っている。35 ページのグループタクシー制度の検討について。桜ヶ丘の場合はずっとやっておられて、日本交通がやっておられて、ジャンボタクシーが大田に引き上げられて、その後に浜田タクシーが実施されたが、こちらも車両手配等が難しくなり中止された。桜ヶ丘団地のグループタクシー制度が廃止になった経過を確認したい。
まちづくり推進課長	仰るとおり契約していた会社のジャンボタクシーがなくなったとのことで今はやっておられないが、我々もヒアリング等に行かせてもらった。現在も皆で集まってどこかに行くような手段があれば良いという話も聞いている。では誰が音頭を取って予約するのか、お金はどうするかといった世話を自分らでやるのも大変だという話もあった。県立大学の先生にも入ってもらっているので、この辺の結果が出た後にどのようにお手伝い出来るか考えたい。
芦谷委員	36 ページにコミュニティワゴンの展開について書かれている。まちづくり推進委員会や自治会に、交通空白地域の解消、便の確保といったメニューを積極的に提示し、場合によってはまちづくり総合交付金にそういった支援メニューを入れる等をしないとかなかなか。自分らでやれと言っても難しい。自助共助でそういう部分には支援メニューを示しながら、是非町内会や自治会、推進委員会等で自主的に検討してもらおう。そのような促進策を検討できないか。
まちづくり推進課長	コミュニティワゴンについては、まちづくり委員会や自治会に話を持っていっているが、自分らで無償でやらないといけないと

岡本委員長

いう部分が大変だとも聞いているし、また、有償運送についてもかなり国の法律が柔らかくなっているのです、その辺も我々よく勉強し、良い物は地域に提供していきたい。

その他。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。(5)についてはかなり時間を取りそうなので、ここで暫時休憩する。開始時間は 13 時丁度とする。

[11 時 54 分 休憩]

[13 時 00 分 再開]

(5) (仮称) 浜田城周辺整備検討会の設置について

岡本委員長

ここで申し上げておく。議題に沿って進めたいので、議題から少しはずれた一般質問的な質疑については配慮願いたい。

地域 PJ 推進室長

それではこの件について、地域プロジェクト推進室長。

最初にお断りをさせていただくが、今議会に議題報告をする時点では仮称としていたが、11 月 9 日にこの要綱の決済が下りたため、仮称は取って説明したいのでご理解いただきたい。

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

委員から質疑は。佐々木委員。

佐々木委員

検討内容が 2 つ挙げられている。城山公園は今年度中に急ぎということで、私も早めに整備した方がより省コストなので進めるべきだと思う。神楽歴史館は、今まで歴史館と御便殿は分ける流れだったと思うが今回は 1 つの施設で両方の機能を付けるという説明だったと認識して良いのか。今回コストの話は一切出されていない。前回の事業費は市の負担や民間寄附等も含めて総額 18 億円が示されていたが、多少のコスト変更が想定されているのか。

地域 PJ 推進室長

多種の情報を発信をしようとする御便殿だけでは面積的にも難しいと考えている。現実的には近くに新しい建物を建て、渡り廊下で繋いで一体的施設として情報発信するのを 1 つの案として検討中である。このうち、新しい施設と御便殿側でどのような機能を持たせていくかは、今後検討していきたい。

コスト面だが、事業費は今後色んな意見を聞く。検討会にて希望事業によるコストについて、だいたいこのくらいになるのではないかとことを諮る作業が出てくる。従って現時点では不透明な所がまだあるので、総事業費がいくらになるかは分からない。

佐々木委員

今の話だと、新しい歴史神楽館と今ある御便殿は一体的な施設と考えて、それぞれに持たせる機能は今後の検討会で決めるとのことだから、コストも変わってくるだろう。我々も検討委員会の動向等を見守りながら、議会への説明や意見交換の場を待つ。か

岡本委員長
岡野委員

なりコストのかかる施設なので、大きな流れとしては施設を手放す方向の中で、新たな物を作るのだから、意見交換や検討委員会の状況をしっかり見据え、よりの確な判断をしていただきたい。
その他。岡野委員。

地域 PJ 推進室長

浜田城山は昔から花見に訪れるお客がいる。私は数年見てないが、桜がかなり老木になって本数が減ったり花をつけなかったりしていた。新たに桜を植える等の計画はしているのか。

岡野委員

桜広場はテングス病が入ったり、県の許可を得て新しい苗木を植えても土が弱っていて育たない状況があるので、この場所に整備するとしたら土壌改良を含めた、かなり大がかりなものになるだろう。その可能性の有無も含めて検討はしたいが、場合によっては日当たり等エリア内でもっと条件の良い所に桜の名所を整備していく方法もあると思っている。しっかり議論したい。

地域 PJ 推進室長

歴史神楽館という仮称で、全体の中で今から検討するという話だが、黒川の歴史資料館の系譜を持つ歴史館と神楽とでは、若干系譜が違うのではないか。例えば神楽の衣装や面の展示を含めてやろうとしているのだろうが、神楽というカテゴリで、その場で演じたりするものも入るとなると、郷土資料的な歴史館には賛成だが神楽は別個の話ではないかという議論があるのではないか。話を精査する必要がある。例えば神楽に関しては別の場所に用意した方が良いという意見も出ると思う。考えを聞きたい。

岡本委員長
野藤委員

コンサルが3月にこの資料を作成し、ここまでかなり時間を要した。ヒアリングでも色んな声をもらっている。歴史展示については非常に前向きな方もいれば、神楽については別の場所を望む声もあった。もちろん一緒にという声もあった。検討会の中で、ここに作る必要性、作る場合の機能整備等も踏まえてきちんと議論したい。

地域 PJ 推進室長

その他。野藤委員。
殿町に住む者としては浜田城山周辺整備は非常に喜ばしい。現在の浜田市民の、浜田城に対する歴史認識を改めた方が良い。自焼退城は間違いだったというのが現在の見解である。武器・弾薬を燃やして一晩で3800人超が松江に移った。そういうきちんとした歴史認識の広報も大切なので、同時にやってほしい。

野藤委員

この施設整備とは別に、どのようなイベントをやるべきかの議論も進めている。平成31年の本番だけでなく、プレイベントとしての位置付けも考えている。野藤委員からご指摘のあった点について、例えば今年度11月22日にも教育委員会主催で、プレイベントと称して自焼退城の経緯が分かるような講演会を予定している。こうした機会を通じて、平成31年までに浜田城を大切にしようという雰囲気盛り上げることも必要だ。

ふるさと教育といった面でも大切だと思う。是非きめ細かくや

岡本委員長
江角委員

って欲しい。

江角委員。

市長が示されたロードマップで言う「浜田開府 400 年記念事業」の(3)、イベント事業を除いた部分にこの事業を位置づけて検討するのだろう。事業費の関係で言うと不透明な感じだったが、我々が見る範囲では中期財政計画で示されており、先ほど佐々木委員が 18 億円と言われた。御便殿活用整備事業が約 3 億円、浜田城周辺整備事業が 4 億 4,000 万円、浜田歴史館整備事業が約 10 億円ちょっとだから、これがベースにあるのではないかと思うが、それは関係なく再度検討してはじきだして行こうとされているのか。決められた範囲内で極力抑えこんでいこうと考えておられるのか。

地域 PJ 推進室長

昨年度の中期財政計画に盛り込んだ総事業費 18 億円のうち、今ご指摘いただいたような内訳になっている。今回は事業費も規模等の検討があるので色々考えることになると思うが、最大で 18 億円前後、中期財政計画でお示しした額で収まるような計画となるよう意識していきたい。

江角委員

いつだったかははっきり言えないが、この構想が出された時に神楽関係者から「もっと多人数が入る施設が必要だ」という申し入れの新聞記事があった。今日示された案の 6 ページ、「学習交流の場・多目的ホール」とあるが、これが神楽が舞えるスペースとして示されているのか、それは関係者の方も了承されているのか。あるいは別の場所に本格的な舞台を設ける考えなのか。

地域 PJ 推進室長

浜田社中の代表者からは「最低 200 人程度が観覧できる施設にして欲しい」という要望をもらっている。ただ一方で、その施設が本当に必要なのかという声もあるので、検討会の中で議論したい。今回示した資料では、学習交流の場としての多目的ホール、これは神楽に限らず複合的な機能を持っている施設の整備を投げかけてみたいと思っているが、場合によってはこれが専用施設になるのか、あるいはこの機能が全く別のところになるかもしれない。しっかり議論したい。

江角委員

ベースとして神楽関係は平成 24 年に、伝承施設の検討事業として調査結果が出されたが、その最後のまとめに「石見神楽伝承施設は整備するのが望ましい」ということで、望ましい施設像等も書かれている。ずっと見ていくとここにあってもおかしくはないまとめにはなっていると思う。一方で同僚議員からも、ここに作るのはいかがなものかという意見があるので、その点が焦点になるだろう。今日はそれでおきたい。

岡本委員長
芦谷委員

その他。芦谷委員。

1 ページ、検討会の構成員について。かねてから津和野藩との関係云々もあるのだが、検討会メンバーには幅広い人材が必要だ

地域 PJ 推進室長	と思う。メンバーに関する考えがあれば聞きたい。 歴史文化の関係団体となると、例えば文化協会や浜田城資料館の建設期成同盟会、あるいは浜田市文化財審議会といった団体がある。こうした団体と神楽社中関係者。観光面でいくと観光協会や観光ボランティアガイドの会、経済界で言うと商工会議所、商工会といった所にご案内させてもらっている。市民の意見を伺うために、浜田市地域協議会の全体の代表として浜田自治区以外の方、もちろん旧浜田についても地域協議会の会長さん等、あとは女性のご意見もとして御案内する予定としている。
芦谷委員	それを前提として伺うが、資料 4 ページ。松江城は天守というシンボルがあるが、浜田はないので城の遺構を示す意味で色んな表示をする、今あるものは活かす。例えば中門、裏門、大手門、場合によっては長善館とか、桜の馬場、こういった城の遺構を示す、城下町を散策する、そのための表示が必要だと思う。考えを伺う。
地域 PJ 推進室長	散策路も含め 4 ページには、裏門から中門にかけて、当時から使われている井戸がある。また、門についての説明書きがかすれている。今回改めて周知したい遺構や、既存の表示で傷んでいるものは、きちんとサイン計画を立てて修繕等したい。
芦谷委員	原田前議長からも質問があったと思うが、どうしても「いきなり浜田藩」なのだ。古代国庁から中世がある。中世を整理すると尼子、毛利、益田氏ときて、浜田藩の成り立ちがよく分かる。町村の方々も含めて浜田藩が出来る前の所から整理されると、町村の方も理解しやすいと思う。浜田藩と言うと旧浜田市の話にほとんど限られてしまい、旧郡部の方にはピンとこない。是非検討されたい。
地域 PJ 推進室長	浜田藩開府 400 年をオール浜田のシンボルチックなスタートにしたいと思っているので、当然津和野藩の取扱いやご指摘のあった部分についても検討したい。
岡本委員長	他に。
岡本委員長	(「なし」という声あり) ではこの件については終了する。

(6) 平成 27 年度税制改正について

岡本委員長	この件について、徴収課長。
徴収課長	(以下、資料をもとに説明)
岡本委員長	説明が終わったが、これは条例で提案されるところなので、質疑は終わらせていただく。

(7) 浜田市ふるさと寄附の状況について

岡本委員長	この件について、ふるさと寄附推進室長。
-------	---------------------

ふるさと寄附推進室長	(以下、資料をもとに説明)
岡本委員長	委員から質疑は。佐々木委員。
佐々木委員	10 億円突破は素晴らしい。視察先でも話をしたら先方がとても驚かれた。先ほどの城山整備にも関連するが、寄附の使い道について条例改正提案があり 1 つか 2 つ減ったと思うが、その内訳はどうなっているのか。城山整備の金額等も分かれば併せて示して欲しい。
ふるさと寄附推進室長	寄附の内訳は現在やっていないが、9 月に基金積立の条例を作り、それまでは城山基金に積み立てたのがある。それ以降はふるさと応援基金に、それぞれ寄附者が申し出のあった項目ごとに区分し、管理しながら積立を行っている。昨年度末で 8 億ぐらだったと思う。26 年度の「浜田城に関する資料館及び城山整備に関する事業」で 1,120 万円の積立を予定していた。26 年度末の城山基金の残高は 3,468 万 7,000 円である。
岡本委員長	他に。江角委員。
江角委員	頑張っていることを評価する。財務部には権限がないのかもしれないが、浜田からの発信という意味では商品開発もそうだが、この寄附金で何かを作り上げたとか、何かに使ったということでもた寄附が増えるような、商品ばかりの発信だけでなく今後検討してもらいたいのだが。
ふるさと寄附推進室長	いままでふるさと寄附金を充当しているのが、石正美術館の工事、石見神楽の衣装、学校図書購入、奨学基金である。使い道は浜田市ホームページで最終結果として、決算が終わった今年の夏ごろに公表している。
岡本委員長	他に。
	(「なし」という声あり)
岡本委員長	ではこの件については終了する。

(8) サン・ビレッジ浜田 スポーツ広場の整備について

岡本委員長	この件について、生涯学習課長。
生涯学習課長	(以下、資料をもとに説明)
岡本委員長	報告が終わった。条例を一部改正するようだが、これも条例の方で出るとのことなので質疑を終了する。

(9) 「故石本正先生を偲ぶ会」について

岡本委員長	この件について、教育総務課長。
教育総務課長	(以下、資料をもとに説明)
岡本委員長	委員から質疑は。芦谷委員。
芦谷委員	これとは関係が薄いのだが、亡くなられて新たな寄贈品があるのか。
教育部長	その辺りはご遺族で整理されていないため未定である。

岡本委員長

他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(10) 旭図書館移転事業について

岡本委員長

この件について、教育委員会旭分室長。

教育委員会旭分室長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

委員から質疑は。佐々木委員。

佐々木委員

元々木造の方は非常に古く、耐震面については予想がついていてもおかしくなかったのではないかと。経過はどうだったのか。また、「校舎改修、駐車場・下水道・歩道整備」、平成 27 年年度は云々とのことだが、まだ一切手を付けておらず検討だけ進んでいたのか。

旭分室長

まず耐震だが、何らかの補強工事は必要だろうとは当初から言われていたが、実際に壁の中等を見た時に、やはりこれでは安全性の確保はしづらいという指摘があったとのこと。実際の移転工事については今は止めているため、経費はかかっている。ただ、外構工事の一部（分校すぐ手前の民家辺りのフェンス設置）については今年度中にやってもらうが、本体は手をつけない状況である。

佐々木委員

本体は手をつけないが、外構工事については周辺民家への影響もあるので、ここだけはしなければならぬということが確認させてもらい、恐らく耐震工事そのものは本体部分の工事であり、壁や天井といった非構造部分の改修の見積りが甘かったということか。

旭分室長

フェンス等の件は、民家とのお話もあってそこだけはやらなければいけない。それともう 1 つは、図書館の移転とすることで職員室があった平屋部分をまず動かそうと思っていた。最初の計画では、なるべく木造校舎を活かすのが大前提にあって進められていた。しかし今度使う教室棟の 2 階部分について実際に見て貰った結果、耐震基準を満たすためには大きな費用がかかるということだったので再検討することになった。

佐々木委員

2 階建ての古い方は、当初使う予定はなかったと。

旭分室長

当初から使うことは前提としていた。ただ、一度に工事するのではなく、まずは図書館を先に移転させるという年次計画を考えていた。今年度は図書館をやって、翌年に児童クラブ等を計画していたのだが、いざ実際にやってみると耐震問題が出てきた。木造建築の耐用年数のこともあり、そこまで経費をかけるのもいかなものかということで、再検討とさせていただきたい。

岡本委員長

他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(11) 浜田市有施設における旭化成建材の杭工事実績について

岡本委員長

この件について、建築住宅課長。

建築住宅課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

委員から質疑は。佐々木委員。

佐々木委員

施設が3つ示されたが、3つ目は池の基礎工事とのことで、コンクリート杭があるのか。

上下水道部工務課長

この内田調整池は、高野地区にある配水タンクである。杭の種類はコンクリート杭の外側に鋼管を巻いて補強してある。長さは8メートルから14メートル、杭の数は59本。以上が基礎工事の概要である。

岡本委員長

私から質問したいので委員長を交代する。

上野副委員長

岡本委員長。

岡本委員長

説明の中で、安全性に問題がないか再確認するという話だったが、問題なしとなる基準は何か。

建築住宅課長

杭工事の際には現地に試験杭を打ったり、掘削機による支持地盤の深さ等を確認し、杭工事の内容が適正かを把握しながら進める。監督の立場である市としても、適宜立会をして状況確認している。成果の時には杭工事報告書が提出される。偽装等は報告書の中で当然チェックするし、完成しているものは再度見に行っているが、特に異常はないので安全上問題なしと判断している。

岡本委員長

私は杭の工法について認識がないのかもしれないが、通常は試験杭等々、地盤を取って行って杭を貫入していくのだが、抵抗を感じることでその支持層に到達したと判定したり、それに付随した判定方式があるのだが、そういう手順での確認ではなく、ただ地盤層を想定してそこに到達しているかどうかで判断したのか。

建築住宅課長

現場でデータを取るのだから、オペがこれ以上入らないことを確認するし、その立会もやっている状況なので、安全性は問題ないと解釈している。

岡本委員長

では委員長を代わる。その他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(12) その他

岡本委員長

その他、執行部から何か。教育部長。

教育部長

議員の皆にチラシを配布させていただいた。11月22日、浜田開府400年記念プレ講演・座談会が開かれる。

(以下、チラシをもとに説明)

岡本委員長

質疑は。

(「なし」という声あり)

岡本委員長
田畑委員

その他委員からあれば。田畑委員。

先日、三隅と金城の市民から相談があった。平成 23 年度から 5 年間続いたまちづくり総合交付金制度が今年度で終わる。そして 28 年度から新たな交付金制度になるとのことで、既に各地域の地域協議会で説明されている。何故、この総務文教調査会や、あるいは全員協議会で説明せずに地域協議会へ先に説明したのか。

まちづくり推進課長

途中経過は委員会で報告させてもらっていたが、検討委員会を立ち上げて 11 月 4 日までに 4 回の検討会を開催し、その会議に各地域協議会の委員にも入っていただいて検討してもらっていた。その検討委員会の中で方向性を確認した。飽くまでも委員会の中での合意形成なので、それを市に持ち帰って細部を詰め、12 月議会で報告すると、9 月の委員会でもそのように説明したつもりである。各検討委員会には地域協議会の委員が出ておられるので、その中で話し合った内容は地域に持ち帰り、地域で協議するつもりで情報提供があったのだろう。検討会資料には「最終決定ではないので外部に出さないでくれ」という注意は書いてあった。まだ完全に出来上がってない状況なので、きちんと固まった段階で 12 月に報告するつもりであった。

田畑委員

今までにも議会軽視と思われるような、資料の流出や新聞報道が多々あった。取扱い注意なら注意らしく、少なくとも正副議長、そして常任委員会の正副委員長には、間に合わないかもしれないが現状はこうだという報告が出来なかったのか。今回が初めてならまだ別だが。執行部は手順さえ間違わなければ悪くないのだが、手順が非常に不味い。そうすると素直に執行部と向き合って議論する気が削がれる。今後 2 度と手順を間違えないように。

地域政策部長

経緯については先ほど課長が申したとおりだが、情報提供のあり方については過去にもご指摘があったことなので、議会への十分な情報共有は今後充分気を付けて不手際がないようにする。

岡本委員長

そのように願います。その他委員からあれば。

(「なし」という声あり)

ここで執行部からの報告事項 11 件のうち 10 件について、全員協議会へ（①提出すべきもの、②資料配布のみとすべきもの、③提出の必要はないとするもの）の決定をしたいと思う。なお、(11)については各委員会で報告されているので、提出は不要とする。

- (1) 資料のみ
- (2) 資料のみ
- (3) そのまま提出
- (4) そのまま提出
- (5) そのまま提出
- (6) 資料のみ
- (7) そのまま提出

- (8) 資料のみ
- (9) そのまま提出
- (10) 資料のみ

2. その他

岡本委員長

議題2のその他について、皆さんから何かあれば。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

委員長から少しお願いしたい。昨日篠原係長に資料請求をしたところ、資料が揃っていなかった。資料は当日ではなく2日前には我々委員に配布されると聞いている。提出期日は厳守していただくようお願いする。では、以上で総務文教調査会を終了する。

(閉 議 14 時 18 分)

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

総務文教委員長 岡本正友 (印)